

芸術祭の関係者の新型コロナウイルス感染について

瀬戸内国際芸術祭 2022 の会場で業務に従事していた芸術祭の関係者（2名）が新型コロナウイルスに感染していることが判明しましたので、お知らせします。

(1) 感染者の概要

1 件目 年齢：20 歳代 性別：女性 居住地：県内

2 件目 年齢：60 歳代 性別：男性 居住地：県内

(2) 行動等

1 件目

8月13日（土）に高松港で芸術祭関係の業務に従事し、その際は、マスクをつけていました。

同日の夜に発熱があり、8月15日（月）に医療機関の検査で陽性が確認されました。

2 件目

8月11日（木・祝）及び14日（日）に女木島で芸術祭関係の業務に従事し、その際は、マスクをつけていました。

8月15日（月）の朝にのどの痛みがあり、同日の医療機関の検査で陽性が確認されました。

なお、両名とも、芸術祭の関係者との間で、マスクを外しての会話や会食はしていないことが確認されています。

(3) 対応

高松港会場、女木島会場を含め、芸術祭の運営に変更はありません。

芸術祭の会期中は、「瀬戸内国際芸術祭 2022 新型コロナウイルス感染症対策の指針」に沿って、飛沫の抑制や手洗い・消毒、換気、密集の回避など、基本的な対策を徹底するとともに、検温及び体調確認、有症状者の発生時の医療従事者による相談など、島毎の実情に応じた対策を適切に講じてまいります。また、来場者の皆様に、体調不良時には来県・来場を控えること、また、有症状者には施設や作品の受付で鑑賞をお断りすることなどを、十分に周知してまいります。

また、夏会期の開幕にあたり、スタッフの感染対策を徹底するよう周知を行ったところですが、引き続き、注意喚起を行ってまいります。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、感染した来場者等の個人情報については、特定されることのないよう、格別のご配慮をお願いいたします。